公益社団法人川越市シルバー人材センター

令和３年度　事業計画

新型コロナウイルスの感染が世界各国で猛威を振るい、日本国内においても昨年末から感染者が増え続けたことから２度目の緊急事態宣言が発出され、日常生活や働き方に大きな影響が出ました。延期された東京五輪の開催についても懸念の声があがる中、他の様々な催事においても、以前のように同じ場所に集まり、共有・共感する場が戻る環境については、不透明な状況となっています。

川越市においても、新型コロナウイルスの影響や少子高齢化が進行する中、シルバー人材センターの活躍が期待されております。引き続き市や関係機関と連携しながら当センター事業活動を一層強化・充実させる必要があります。

令和３年度は、第４次中期５ヵ年計画の始期となります。新型コロナウイルスの影響により、センターを取り巻く環境を厳しい状況が続くものと思われますが、安全対策を講じながら、会員の増強や就業機会の拡大、安全・適正就業の徹底を柱に、地域高齢者福祉の担い手として社会の発展に貢献できるようにシルバー事業を推進してまいります。

◎令和３年度の重点実施事業

①会員の増強

一人一声運動の推進に加え、「出張入会説明会」を継続して実施するとともに、様々な広報活動を検討しセンター事業の周知に努め会員の増強を図ります。

また、引き続き女性の就業機会の拡大に向けて、講座などによる市民交流の場を通じ女性会員の増強に努めます。

②就業機会の拡大

会員のスキルを活かした就業先の開拓に努めます。また、「就業希望者登録制度」の職種を拡げて迅速な受託体制がとれるようにします。

更に、「出張就業相談会」等の就業相談会を継続して実施し、就業機会の提供に努めます。

③安全・適正就業の徹底・推進

安全就業の意識を周知徹底するため、仕事別グループリーダー・サブリーダーなどに協力を求め事故撲滅を図ります。

また、フレイル予防や日々の健康管理に役立つ講習会等の実施に努めます。

④財政基盤の強化

新型コロナウイルス感染拡大により、事業実績の減少が見込まれ、事業運営にも直接影響するため、経費の節減（ペーパーレス化等）や事務費率の見直しも検討し、財政基盤の強化を目指します。

１．会員の増強と普及啓発の促進

（１）会員の口コミによる「一人一声運動」を実施し、会員の増強を図ります。

（２）女性会員の就業体験発表や交流会、趣味講座などの企画を有効活用し、市民の参加も呼び掛けながら女性会員の増強に努めます。

（３）「出張入会説明会」の開催数を増やして、会員の増強を図ります。

（４）会員のための会報となるよう内容を見直し、新たな情報誌を目指します。

（５）ホームページの充実を図り、シルバー事業に関する情報発信に努めます。

（６）公共施設や広告チラシなど情報発信の方法などを検討し、シルバー事業の効果的な紹介に努めます。

（７）市内各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発に努めます。

（８）年度途中入会者の正会員会費を見直します。

（９）法人及び個人の賛助会員の拡大に努めます。

２．就業機会の拡大と未就業会員の解消

（１）請負事業や派遣事業、職業紹介事業を有効に活用し、就業機会の確保・拡大に努めます。

（２）「出張就業相談会」を継続して実施し、未就業者と直接話し合いながらマッチングに努めます。

（３）新規事業の開拓や既存事業の見直しを実施し、会員の就業機会の拡大に努めます。

（４）迅速な受託体制がとれるよう、「学校用務員業務」など職種に応じて「就業希望者の登録制度」の拡充を図ります。

（５）社会情勢に合せた就業機会の拡大を図るため、市や関係機関と連携を強化し、「空き家サポート事業」等の展開と充実を図ります。

（６）長期間、長時間就業の是正に取り組み、多くの会員に就業機会を提供します。

（７）就業場所の巡回を実施し会員の就業環境等の見直しを実施します。

（８）契約を長年更新している業務などについては、適正な就業形態を維持するため、現状を再確認します。

３．安全・適正就業の徹底

（１）トラブル・クレームや傷害事故・賠償事故の事例を踏まえ、定期的に就業現場の安全巡回を実施し、事故撲滅に取り組みます。

（２）危険な猛暑日の就業について、熱中症対策の周知を図り、安全就業の徹底と事故防止に努めます。

（３）7月の安全・適正就業強化月間に安全就業の啓発活動を組織的に展開するとともに、「安全ニュース」による情報提供や毎月１日「安全の日」の意識啓発に努めます。

（４）毎月１日の「安全の日」には、安全ワッペン着用での就業を徹底し、安全意識の更なる高揚を図ります。

（５）事故・クレーム発生時は、当事者立ち合いの下にタイムリーな聴取・検証を行い、再発防止に努めます。
（６）健康診断受診の啓発、地域密着型の体力測定会や健康管理講習会などでフレイル予防を導入し、健康への関心や意識の高揚を図ります。
（７）事故事例の紹介や事故防止への意識醸成を図ります。
（８）業務別安全就業対策の研究や現行の安全就業活動等を見直し、標準化を推進します。

４．研修・講習内容の充実
（１）発注者や地域社会から一層の信頼を得られるよう、トラブル・クレームなどの再発防止のための就業上の心構えや接遇に関する研修会を実施します。
（２）事業理念などを含むシルバー事業の在り方や現況の理解促進のため、入会５年次研修会を開催します。
（３）事業理念に沿った組織体制の確立のため、地区長や班長・副班長、また仕事別グループリーダー・サブリーダーなどを対象とした研修会を実施します。
（４）技術・技能を必要とする職種について研修・講習会を実施し、後継者や新たな就業会員の育成に努めます。
（５）防犯や健康管理など関心を寄せる研修・講習会の開催に努めます。
（６）AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を含めた普通救命講習会を実施し、就業会員を中心に技能習得を図ります。

５．組織体制の強化と地域社会の共生
（１）地区長や地域班長を中心とした地域班組織の充実と情報の共有化を図り、会員による地域の自主的な交流機会への協力に努めます。
（２）仕事別グループと事務局との連携を図り、就業体制の強化に努めます。
（３）組織の活性化のため、各種事業や委員会への会員の参画を促進します。
（４）コンプライアンスに基づく組織構築のため、事務局体制の強化に努めます。
（５）川越まつり事前清掃ボランティアなどの社会奉仕活動に取り組みます。

６．財政基盤の強化
（１）ITを活用した事業の推進に努めます。
（２）財政基盤強化のため、事務費率の見直しを検討します。
（３）財政基盤の安定化と自主財源の確保に向け（調査・研究するとともに）、事業実績に対応した請求事務などの効率化や迅速化に努めます。
（４）事業運営に係る諸経費を見直し、経費の節減に努めます。